

2023年8月22日(火)

街道観光「実践オンラインセミナー2023」—第3回

行動計画をもとつ・つころう

—シナリオの描き方と動かし方—

帝京大学 経済学部観光経営学科 教授 大下 茂

帝京大学 経済学部観光経営学科 准教授 今野久子

はじめにープロフィールと2023セミナーの趣旨

実践オンラインセミナー2023の趣旨

2023年度の実践セミナーでは、取組を持続可能な姿とするための「**多様な主体の参画**」をテーマに、地域が気持ちを合わせていく手法について、3回のセミナーを通じて考え方をお伝えするとともに、地域の力を合わせて実際の消費につなげる取組を実践的に学べるよう努めたいと思います。

第1回	8月2日(水)	人口増が期待できない時の地域づくり ～地域の成り立ちに樹った文化のネタを見出す～
第2回	8月10日(木)	仲間をつくろう ～志の募り方とむすび方～
第3回	8月22日(火)	行動計画をもとつ・つくろう ～シナリオの描き方と動かし方～
第4回	8月24日(木)	明日からできる! 地域の多様な主体が連携し、事業成功に導く「とっておき」の法則

はじめに一前回 (第2回講座) の振り返り

☑集客型地域づくりと呼ばれる方法が興った時代的背景と段階的に展開されていることを解説。

最初は組織づくり・仲間づくりから取組んでいることを示した。

☑組織・仲間づくり => リーダー・参謀・応援団・地域外ネットワーク(ファン)を組成すること。中でも応援団やファンを募る“仲間を広げる方法”について解説した。

☑仲間を広げる、事業に取組むための会議においては、円滑かつ楽しい雰囲気担保するために、ファシリテーターが必要であり、ファシリテーターの技のいくつかを紹介した。

☑組織の活力を維持するためには、**当事者意識**をもって、「**お互いに認め合うこと**」と「**感謝すること**」が極意である。

地域づくりに取組むために『**志は高く、意は強く・熱く、しかし思考は冷静に・・・**』の言葉を紹介した。

行動計画をもつ必要性

行動計画をもつことの必要性

♪ むすんで ひらいて <<<<<<

むすんで ひらいて **手を打って** むすんで…



- ☑ むすんで…中核的組織のコアグループを形づくること
- ☑ ひらいて…応援団やファンなどの仲間を広げていくこと
……そして次は……
- ☑ **手をうって**…何か具体的な事業に取り組むこと
- ☑ むすんで…取組んだ結果を仲間で評価し、共有すること



そのためには…行動計画をもち行動する必要がある

行動計画のシナリオの描き方

計画づくりの5つの要素

目的	<ul style="list-style-type: none">□なぜ、地域づくりに取組もうとするのか□なぜ、この資源を活用しようとしたのか□なぜ、仲間たちとともに活動しようと考えたのか… <p>==>迷った時の原点はここにあるのです。。</p>
目標	<ul style="list-style-type: none">□できるだけ多くの人々の「夢」を盛り込みましょう。□誰にもわかりやすく、将来の姿が目に見えようようにしましょう。
主体・対象	<ul style="list-style-type: none">□誰のための活動なのか、誰に楽しんでもらいたいのかを示します。
課題と手法	<ul style="list-style-type: none">□【課題】とは、客観的な現状と将来の姿とのギャップ。□課題を体系的に構成し、その課題解消に向けて、どのように取組むかを考えます。
手順	<ul style="list-style-type: none">□すべての課題に取組むには無理が生じます。 <p>緊急性・必要性・容易性などの観点から優先順位つけて取組むことをお薦めします。</p>

【計画づくりのヒント①】 複数の目標を定めて段階的にステップアップさせる

北区観光振興プラン

【STEP③】 定住人口増加をめざした総合的な地域活力の向上
～北区の地域活力を高め、住む人を増やそう！

最終ステップ
最終目標

【STEP②】 地域の観光的魅力の向上と観光交流の促進
～地域の魅力を磨き、観光振興に活かそう！

後期

【STEP①】 愛着と誇り・こだわりの持てる舞台づくり、ふるさと意識づくり
～観光振興を通じて、北区に対する愛着や誇りをさらに高めよう！

前期

【計画づくりのヒント②】 目標＝目的にして、誰もがわかりやすくする

佐原TMO構想—10の戦略

- 【目的①】 佐原を有名にする
- 【目的②】 佐原の町中へ行きやすくする
- 【目的③】 来街者・顧客へのサービスを高め、中心市街地内を回りやすくする
- 【目的④】 魅力的な店舗を増やす
- 【目的⑤】 魅力的なイベントを行い、通りに賑わいを生み出す
- 【目的⑥】 町並みのホンモノの魅力をひきだす歴史及び文化に関する活動を展開する
- 【目的⑦】 飲食の魅力を高める
- 【目的⑧】 定期的に必要な調査を行い、町づくりへフィードバックする
- 【目的⑨】 町並みの整備など、美しく住みやすい環境をつくっていく
- 【目的⑩】 マネージメント体制を確立する

【計画づくりのヒント③】 複数の目的・対象をひとつの事業に組込む

バスタ新宿—学生提案プロジェクト(バスタ新宿—松本便)

【事業内容】

バスタカード・松本観光カードの作成・配付
と松本観光のデジタルスタンプラリーの実施



【3つの目的・対象・効果】

目的	対象	期待する効果
①「バスタプロジェクト」をアピールする	国土交通省	○進められているバスタ事業の周知・広報
②「ばす旅(高速バスを使った観光)」を広める	バス運行会社 国土交通省	○高速バスの観光利用者の増加 ○バスタ新宿の利用増進
③高速バスの着地(松本)の観光を盛り立てる	松本市	○松本観光のオフシーズンの来訪者の増加

行動計画のシナリオの描き方

計画(企画)づくりの10の要諦

- ①不可能と思える程の高い目標(ロマン)をもつこと。
- ②ニーズ(とくに、感覚的、心理的ニーズ)をつかんだ企画構想とすべき。
- ③苦情・不満の裏にニーズあり。少数の苦情・不満を重視すべき。
- ④注目を集めている先進地域が出現したら、新しいニーズと思うべき。
人が気づくより先に、そのヒット商品に着目すべき。
- ⑤利用者の立場に立って考える。
- ⑥できないと思ったら負け、必ずできるとねばること。「不可能」は禁句。
- ⑦自分自身の考えに陶醉しない。
計画案が定まるまでは、人の意見を聴いてまわること。
- ⑧何も知らないのに「まず考える」ということは、まったくの無駄。
- ⑨わかっているつもりでも、99%知らないという気持ちでいると不思議と見えてくる。
- ⑩失敗の事例に学び、失敗の型を避ける。
とくに、失敗は企画の段階で完了すべき。

ご静聴、ありがとうございました。

『行動計画』をもつことの必要性和、『シナリオの描き方』について
解説いたしました。

ひきつづき、その行動計画をどのように具体的に実践していけば
よいか・・・『行動計画のシナリオの動かし方』についてのヒント・解
説をいたします。

shig-osm@blue.ocn.ne.jp

shig-osm@main.teikyo-u.ac.jp